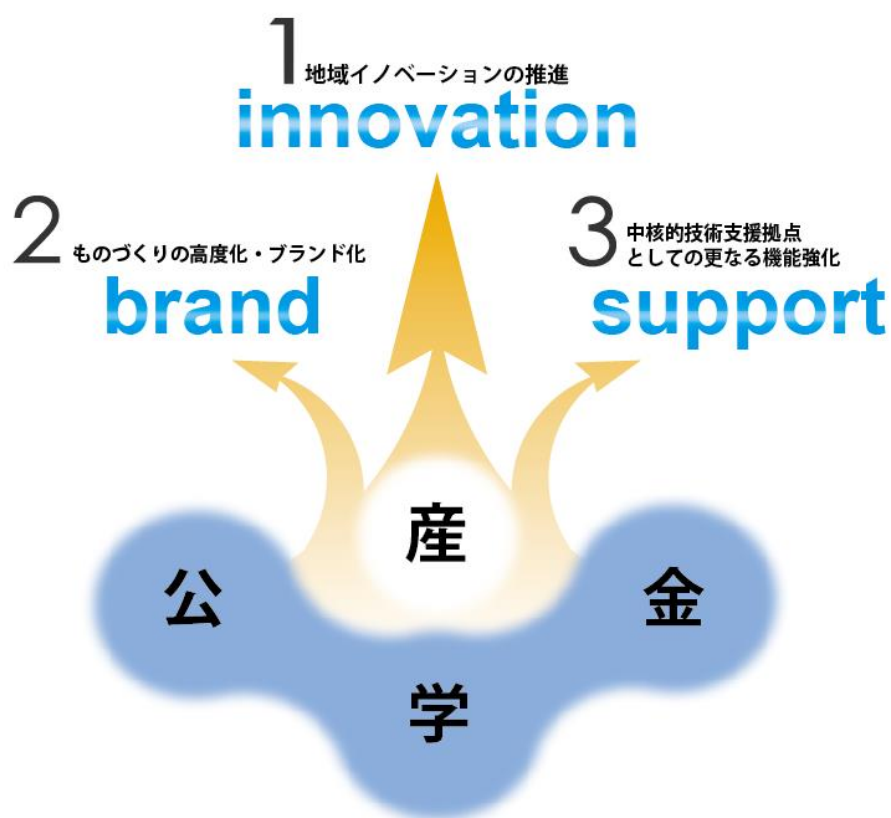


平成28年度

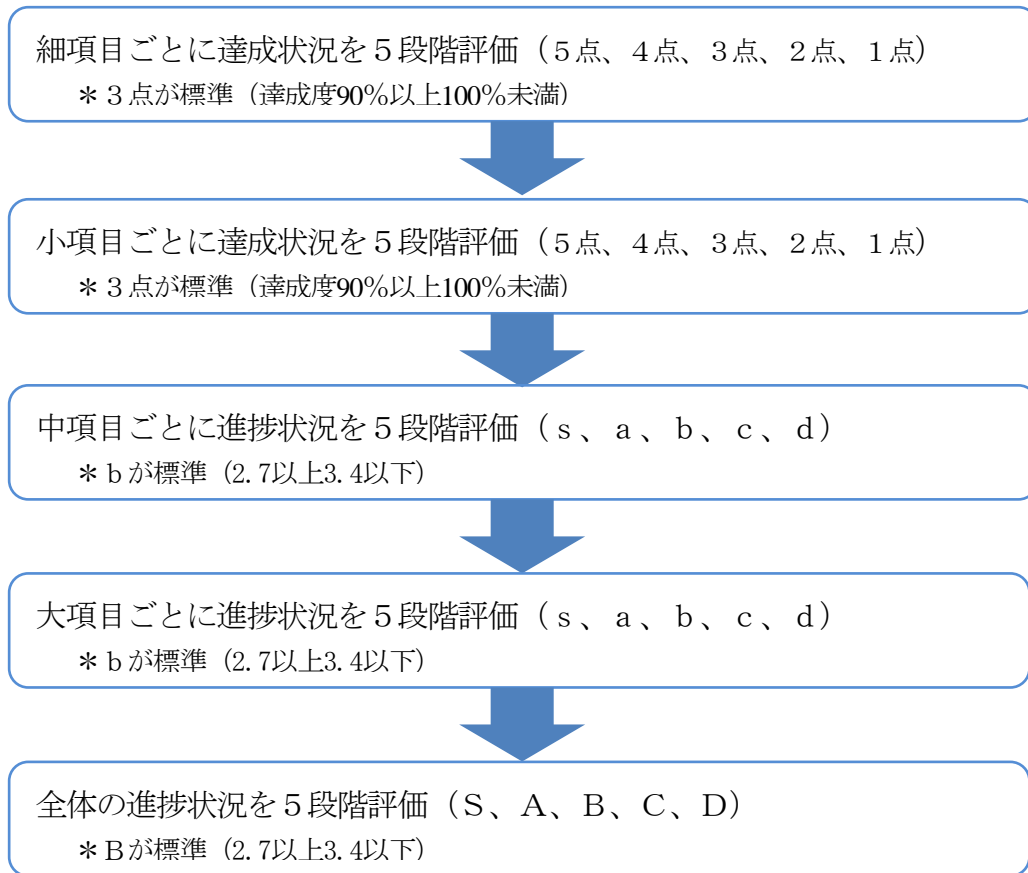
業務実績・決算の概要



# 平成28年度業務実績

## 1 自己評価結果

### (1) 自己評価の方法



### (2) 自己評価の結果

#### ◆全体的な状況

中期計画の進捗は「順調」（A評価（A）：3.7ポイント（3.7））であった。

全体評価は”A”、「進捗は順調」となった。  
H26年度3.9ポイント、H27年度3.7ポイント、H28年度3.7ポイントで、H27年度と同ポイントになり、「順調」に進捗している。  
大項目の「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」では、3つの中項目である「地域イノベーションの推進」、「ものづくり力の高度化・ブランド化の推進」、「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化において、H27年度に引き続き仕組みの整備・充実や業務実績を上げ、それぞれaとなり、大項目全体でもaを達成した。

#### ◆評定の概要

別表のとおり

## 2 平成28年度業務の評価（概要）

### 【大項目】第1 県民サービスの質の向上

（評定：a(a) 大項目ウエイト平均：3.9(3.9)）

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由 主な取組	報告書												
第1-1 地域イノベーションの推進	a(a)	中項目ウエイト平均：4.0(4.0)	—												
第1-1(1) 推進体制の整備	4(4)	年度計画を十分達成 ○体制を充実させ、国等の補助事業を活用し、2人のプロジェクトプロデューサーを中心とした地域イノベーション創出のための活動を推進 <b>新</b> 国の中間評価（地域イノベーション戦略推進地域及び戦略支援プログラム）で高い評価（A評価）を得た。 <b>新</b> 新たに水素関連技術支援チームを設置し、水素関連技術の支援機能を強化 <b>新</b> 医療機器承認（1件）・認証取得（3件）	9												
第1-1(2) 関係機関との連携による研究開発・事業化促進	4(4)	年度計画を十分達成 ○イノベーション推進センターを中心とした取組による競争的資金獲得件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29件(15件)</td> <td>34件(14件)</td> </tr> </tbody> </table> ( )内、新規件数 ○産学公連携室を中心とした取組による競争的資金獲得件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10件(4件)</td> <td>13件(11件)</td> </tr> </tbody> </table> ( )内、新規件数 ○ものづくり補助金計画書作成支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>84件(39件採択)</td> <td>63件(35件採択)</td> </tr> </tbody> </table>	H27年度	H28年度	29件(15件)	34件(14件)	H27年度	H28年度	10件(4件)	13件(11件)	H27年度	H28年度	84件(39件採択)	63件(35件採択)	12
H27年度	H28年度														
29件(15件)	34件(14件)														
H27年度	H28年度														
10件(4件)	13件(11件)														
H27年度	H28年度														
84件(39件採択)	63件(35件採択)														
第1-2 ものづくり力の高度化・ブランド化の推進	a(a)	中項目ウエイト平均：3.5(3.9)	—												
第1-2(1) 実用化研究への取組み	3(4)	年度計画を概ね達成 ・実用化研究とその成果による事業化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11テーマ実施 内事業化2テーマ</td> <td>8テーマ実施 内事業化:2テーマ、 事業化に向けた取組開始:3テーマ</td> </tr> </tbody> </table> <b>新</b> H29年度製品開発チーム創設に向けた検討会の設置	H27年度	H28年度	11テーマ実施 内事業化2テーマ	8テーマ実施 内事業化:2テーマ、 事業化に向けた取組開始:3テーマ	16								
H27年度	H28年度														
11テーマ実施 内事業化2テーマ	8テーマ実施 内事業化:2テーマ、 事業化に向けた取組開始:3テーマ														

<p>第 1-2(2) 研究開発成果の普及・活用</p> <p>ア 研究開発成果の発信・活用支援</p>	<p>3 (3)</p>	<p>小項目</p> <p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究報告書等の刊行、ホームページ、技術発表会等により研究開発成果の積極的発信</li> <li>共同研究・受託研究の実施状況</li> </ul> <table border="1" data-bbox="858 369 1361 488"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>14 テーマ</td> <td>3 テーマ</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>11 テーマ</td> <td>10 テーマ</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>4 件の事業化・商品化実績</li> </ul>		H27 年度	H28 年度	共同研究	14 テーマ	3 テーマ	受託研究	11 テーマ	10 テーマ	<p>—</p> <p>21</p>			
	H27 年度	H28 年度													
共同研究	14 テーマ	3 テーマ													
受託研究	11 テーマ	10 テーマ													
<p>イ 知的財産の管理</p>	<p>3 (3)</p>	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発の知的財産化を速やかに進め、適切な知財管理を行った。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="858 739 1361 898"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職務発明</td> <td>4 件</td> <td>4 件</td> </tr> <tr> <td>特許出願</td> <td>7 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>新規使用許諾</td> <td>4 件</td> <td>6 件</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>新</b>知的財産権に関する手続き等マニュアルの改訂(審査請求有無、権利の廃棄などを判断するしくみ)</p> <p><b>新</b>所内研修や他機関の事業・研修の活用による知財管理の質の向上</p>		H27 年度	H28 年度	職務発明	4 件	4 件	特許出願	7 件	2 件	新規使用許諾	4 件	6 件	<p>21</p>
	H27 年度	H28 年度													
職務発明	4 件	4 件													
特許出願	7 件	2 件													
新規使用許諾	4 件	6 件													
<p>第 1-2(3) 研究会活動の積極的展開</p>	<p>4 (4)</p>	<p>年度計画を十分達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○やまぐちブランド技術研究会、新エネルギー研究会活動による継続的支援(技術革新計画承認 5 企業、展示会への出展)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="845 1326 1342 1429"> <thead> <tr> <th>展示会</th> <th colspan="2">H28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新価値創造展 2016</td> <td>2 会員 出展</td> <td>来場約 199 名 商談件数 21 件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3D ものづくり研究会の積極的活動による事業化 1 件</li> <li><b>新</b>衛星データ解析技術研究会の設立</li> </ul>	展示会	H28 年度		新価値創造展 2016	2 会員 出展	来場約 199 名 商談件数 21 件	<p>22</p>						
展示会	H28 年度														
新価値創造展 2016	2 会員 出展	来場約 199 名 商談件数 21 件													
<p>第 1-2(4) 研究開発計画策定や資金獲得支援(国等の提案公募型事業獲得支援)</p>	<p>4 (4)</p>	<p>年度計画を十分達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○企業の技術革新計画の承認支援</li> </ul> <table border="1" data-bbox="863 1706 1366 1787"> <thead> <tr> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 企業</td> <td>5 企業</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>新</b>技術革新計画承認企業に対する開放機器使用料及び新事業支援センター月額使用料金の減免措置施行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国等の提案公募型事業(競争的資金)獲得(82 件)の積極的支援</li> </ul>	H27 年度	H28 年度	5 企業	5 企業	<p>25</p>								
H27 年度	H28 年度														
5 企業	5 企業														

第 1-2(5) 数値目標	4 (5)	小項目	—
ア 特許等の出願及び新規 使用許諾件数 11件	2 (4)	年度計画をやや未達成 達成率 73% ・8件 内訳：特許等出願2件、使用許諾6件 ※ 職務発明認定（未出願分）：3件	26
イ 山口県技術革新計画の 承認支援件数 4件	5 (5)	年度計画を十二分に達成 達成率 125% ◎5件 支援した全ての企業が計画承認	26
ウ 国等の提案公募型事業 の獲得件数 6件	5 (5)	年度計画を十二分に達成 達成率 233% ◎14件 内訳（実施契約を伴うもの） ・サポイン1件、・農林水産省補助事業5件 ・やまぎん助成基金2件、・マッチングプラン ナー、中国電力技術研究財団、NEDO、スーパ ークラスター、地域イノベーション戦略支援プ ログラム、ものづくり中小企業・小規模事業者 連携支援事業 各1件 ※うち新規 9件	26
エ 研究開発・技術支援が事 業化（商品化）に至った件数 8件	5 (4)	年度計画を十二分に達成 達成率 125% ◎10件 内訳：研究開発4件、技術支援6件	27
第 1-3 「中核的技術支援拠点」と して更なる機能強化	a (a)	中項目ウエイト平均：4.0 (3.8)	—
第 1-3(1) 効果的かつ切れ目の ない企業支援の一層の充実（産 学公の連携）	4 (3)	年度計画を十分達成 ■ <u>新</u> 政府機関の一部移転、水素関連技術支援拠点 機能強化など新たに5件の国・県の施策への 取組 ■ <u>新</u> 「JAXA 西日本衛星防災利用研究センター」 の開所と「JAXA 展示コーナー」の設置 ○大学・国公設試や民間機関、やまぐち産業振 興財団や金融機関等との連携を深めて、産学 公金連携による企業支援を行った。 ■ <u>新</u> やまぐち事業化支援・連携コーディネート会 議での山口大学との連携強化 ■ <u>新</u> 「日本規格協会」、「ジェトロ」などとの連 携による海外展開支援機能の強化	28

第 1-3(2) 技術相談の充実	3 (3)	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループウェアによる情報共有や技術相談室を中心とした複数グループの連携等による多様な技術課題への対応力強化</li> <li>・サテライト窓口における周南地域地場産業振興センターと連携した企業訪問実施</li> </ul> <p><b>新</b>県内企業の海外展開支援に係る当センターの基本方針を定め、外部機関と連携して県内企業の海外展開を支援</p>	36												
第 1-3(3) 新たな技術課題の掘り起こし	4 (4)	<p>年度計画を十分達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農業・漁業分野については、県内事業者や公設試等から課題抽出を行い 12 テーマの研究開発に反映し、国の提案公募型研究開発事業に 5 テーマが採択</li> <li>○サービス分野については、医療関連の課題の掘り起こしから 6 件の事業化、JAXA 等と連携した衛星データの情報産業に展開する取組を開始</li> </ul>	39												
第 1-3(4) 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実	4 (4)	小項目	—												
技術支援機能の強化	4 (4)	<p>年度計画を十分達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○企業アンケート結果を機器整備計画に反映し、外部資金を活用して 2 機器を新たに整備</li> <li>○技術支援サービス向上に必要な機器整備（新規・更新・増設：14 機器）</li> <li><b>新</b>機器の寿命の長期化のための修繕（8 機器）</li> <li>○電話・窓口対応、事務手続き、技術支援サービス等の満足度が 94% 以上</li> </ul> <table border="1" data-bbox="858 1480 1366 1615"> <thead> <tr> <th>対応</th> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話や窓口</td> <td>94%</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>事務手続き等</td> <td>93%</td> <td>99%</td> </tr> <tr> <td>技術支援</td> <td>96%</td> <td>94%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○機器活用事例のパネル 10 機器作成・掲示（H27 年度 7 機器）</li> <li><b>新</b>食品関連企業利用促進対策の実施</li> <li>○機器利用研修会を 4 テーマ（H27 年度 2 テーマ）に増やして開催</li> </ul>	対応	H27 年度	H28 年度	電話や窓口	94%	94%	事務手続き等	93%	99%	技術支援	96%	94%	42
対応	H27 年度	H28 年度													
電話や窓口	94%	94%													
事務手続き等	93%	99%													
技術支援	96%	94%													

ア 開放機器	4 (4)	<p>年度計画を十分達成</p> <p>○開放機器一覧の継続的な配布(～2016)</p> <p><b>新</b>中国地域5県及び熊本地震対応での使用料の県内と同一料金化(中国5県:41件、熊本地震対応3件)</p> <p><b>新</b>技術革新承認企業の開放機器使用料金減免措置の施行(制度利用:2社)</p> <p>○開放機器専門操作補助員が効果的に機能</p> <p>※過去最高を達成した昨年度と同程度の件数であり、利用金額は上回った。</p> <table border="1" data-bbox="879 528 1358 629"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>3,078</td> <td>3,565</td> <td>3,430</td> </tr> <tr> <td>利用金額(千円)</td> <td>20,629</td> <td>20,078</td> <td>20,482</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26	H27	H28	利用件数(件)	3,078	3,565	3,430	利用金額(千円)	20,629	20,078	20,482	45									
年度	H26	H27	H28																					
利用件数(件)	3,078	3,565	3,430																					
利用金額(千円)	20,629	20,078	20,482																					
イ 依頼試験	4 (3)	<p>年度計画を十分達成</p> <p><b>新</b>オーダーメイド試験の割合が増加し、利用金額が過去最高</p> <table border="1" data-bbox="842 837 1369 1005"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>621</td> <td>558</td> <td>577</td> </tr> <tr> <td>利用金額(千円)</td> <td>8,840</td> <td>10,688</td> <td>13,446</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">O.M.*の割合</td> <td>利用件数</td> <td>20%</td> <td>22%</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>利用金額</td> <td>36%</td> <td>54%</td> <td>65%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26	H27	H28	利用件数(件)	621	558	577	利用金額(千円)	8,840	10,688	13,446	O.M.*の割合	利用件数	20%	22%	30%	利用金額	36%	54%	65%	45
年度	H26	H27	H28																					
利用件数(件)	621	558	577																					
利用金額(千円)	8,840	10,688	13,446																					
O.M.*の割合	利用件数	20%	22%	30%																				
	利用金額	36%	54%	65%																				
ウ 受託研究・共同研究	3 (3)	<p>年度計画を概ね達成</p> <p>・企業からの共同研究・受託研究の実施状況(再掲)</p> <table border="1" data-bbox="858 1162 1361 1279"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>14テーマ</td> <td>3テーマ</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>11テーマ</td> <td>10テーマ</td> </tr> </tbody> </table> <p>・開始時期、研究期間の柔軟な対応(共同研究2テーマ)</p>		H27年度	H28年度	共同研究	14テーマ	3テーマ	受託研究	11テーマ	10テーマ	46												
	H27年度	H28年度																						
共同研究	14テーマ	3テーマ																						
受託研究	11テーマ	10テーマ																						
エ 技術者研修	3 (3)	<p>年度計画を概ね達成</p> <p>・職員派遣研修2件(派遣職員数2名)</p> <p>・技術者受入研修12名</p> <p>※内訳・技術者受入研修2名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポット研修6名</li> <li>・学生研修生3名</li> <li>・インターンシップ研修生1名</li> </ul>	46																					
オ 新事業創造支援センター	3 (4)	<p>年度計画を概ね達成</p> <p>・利用促進を図るために、パンフレット等を活用してPR</p> <p><b>新</b>技術革新計画承認企業に対する減免制度施行(制度利用1社)</p> <p>・入居状況:5社6室/12室</p>	47																					

第 1-3-(5) 数値目標	5 (5)	小項目	—
ア 技術相談件数 3,300件	5 (4)	年度計画を十二分に達成 達成率 130% ◎ 4,301件	48
イ 訪問企業数 230社	5 (5)	年度計画を十二分に達成 達成率 231% ◎ 532社 ※うちイノベーション推進センターによる企業訪問数 304社	48
ウ 開放機器・依頼試験の利用件数 3,040件	5 (5)	年度計画を十二分に達成 達成率 132% ◎ 4,007件	48



【大項目】第2 業務運営の改善・効率化

(評定：b (b) 大項目ウエイト平均：3.0 (3.0))

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第 2-1 運営体制や経営資源配分の見直し	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・経営委員会、合同会議の定期的開催による迅速な意志決定 <u>新</u> 経営管理部の事務職員の増員 (1名) <u>新</u> 定年退職者の再任用制度を創設し、H28年度には2名の前年度定年退職者をシニアスタッフとして再任用	49
第 2-2 職員の職能開発の計画的実施	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・研修計画に基づき、外部機関への研修派遣や外部講師を活用した所内研修を実施 <u>新</u> 所内研修や他機関の事業・研修の活用による知財管理の質の向上 (再掲) ・eラーニングによる研究者行動規範教育	50
第 2-3 法人サービスの「見える化」	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・刊行物(6種類)を発行し、ホームページへの掲載や発表会・展示会等などを通じて広く配布 ・依頼試験・開放機器の見える化のため、機器活用事例のパネル10機器作成・掲示(再掲) <u>新</u> 山口県工業の歴史が学べるコーナーの公開展示及び「山口県工業の沿革年表」の配布 <u>新</u> 食品関連企業を対象としたパンフレットの作成・配布 <u>新</u> JAXA 展示コーナーの新設及び展示コーナー全体の見直し	53
第 2-4 コンプライアンスの確保	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・職員の法令順守やハラスメント防止などについて周知するとともに、研修・教育を実施 ・労働安全衛生法等に係る管理者・主任者等によるそれぞれの業務の精査 ・外部講師による全職員対象のハラスメント防止研修会の開催 (2回) ・eラーニングによる研究者行動規範教育 (再掲)	56

第2-5 情報管理の徹底	3 (3)	年度計画を概ね達成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員対象の研修を実施</li> <li>・ネットワーク担当者による情報セキュリティに対する職員への指示・伝達</li> <li><b>新</b>事務用PCのOSをWindows10にアップデート</li> <li><b>新</b>情報セキュリティ対策チームを立ち上げ、規程・セキュリティポリシーの見直しの方向性検討</li> </ul>	57
第2-6 危機管理対策の推進	3 (3)	年度計画を概ね達成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の職員・外来者の安否確認方法について周知し、自衛消防訓練に併せて、その検証を行った。</li> </ul>	57

### 【大項目】第3 財務内容の改善

(評定：a (a) 大項目ウエイト平均：3.6 (3.6))

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第3-1 自己収入の確保	4 (4)	年度計画を十分達成 <ul style="list-style-type: none"> <li>○機器整備や研究開発に係る競争的資金の獲得 (機器整備：2機種、研究開発：7件)</li> <li>○イノベーション推進への外部資金の活用</li> <li>○使用料・手数料、受託研究及び知的財産の実施料などによる自己収入の確保</li> <li><b>新</b>依頼試験手数料が過去最高 (再掲)</li> </ul>	58
第3-2 経費の抑制	3 (3)	年度計画を概ね達成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部所の幹部による予算の審議を行い、より厳密に予算を配分</li> <li>・執行管理のため、上半期終了後に予算執行状況の集計・再配分を実施</li> <li>・比較的規模の小さな経費まで精査</li> </ul>	60

【大項目】第4 その他業務運営に関する重要事項

(評定：b (b) 大項目ウエイト平均：3.3 (3.3))

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書																				
		主な取組																					
第4-1 施設設備の適正な管理			—																				
保守点検・修繕等の計画的な実施	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・施設利用に関するアンケート実施 ・保守業務への計画的な予算配分 ・必要性の高い修繕への優先的な予算執行 新 JAXA 西日本衛星防災利用研究センター開 所式を開催後、一定期間、展示コーナーの土 日一般開放を行った	61																				
<b>【数値目標】</b> 来庁者数 11,000人	4 (4)	年度計画を十分達成 達成率 115% ○12,713人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設利用者</td> <td>4,216人</td> <td>4,050人</td> <td>4,033人</td> </tr> <tr> <td>見学者</td> <td>753人</td> <td>780人</td> <td>706人</td> </tr> <tr> <td>外来受付者</td> <td>6,906人</td> <td>6,969人</td> <td>7,974人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,875人</td> <td>11,799人</td> <td>12,713人</td> </tr> </tbody> </table>		H26年度	H27年度	H28年度	施設利用者	4,216人	4,050人	4,033人	見学者	753人	780人	706人	外来受付者	6,906人	6,969人	7,974人	計	11,875人	11,799人	12,713人	62
	H26年度	H27年度	H28年度																				
施設利用者	4,216人	4,050人	4,033人																				
見学者	753人	780人	706人																				
外来受付者	6,906人	6,969人	7,974人																				
計	11,875人	11,799人	12,713人																				
第4-2 環境負荷の低減	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・ISO14000 に準拠した取組の継続し、省エネ・ 省資源、ゴミの分別収集による古紙などの再 資源化等の取組	63																				

3 H27年度に対してH28年度に評価が上がった項目について(頁は報告書のページを示す。)

頁	評価項目	H27	H28	H28の取組等																					
p.27	第1-2(5) 数値目標 エ 研究開発・技術支援が 事業化(商品化)に至った 件数	4	5	○医療関連で6件 の事業化があり、 実績が向上 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>8件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>8件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>125%</td> </tr> </tbody> </table>		H27年度	H28年度	目標	8件	8件	実績	8件	10件	達成率	100%	125%									
	H27年度	H28年度																							
目標	8件	8件																							
実績	8件	10件																							
達成率	100%	125%																							
p.28	第1-3(1) 効果的かつ切れ 目のない企業支援の一層の 充実(産学公連携)	3	4	○国や県の緊急的な施策への取組や県内企業の海外展 開支援を関係機関の協力を得ながら積極的に行った。 <b>新</b> 国や県の緊急的な施策(政府機関の一部移転、水素関 連技術支援拠点機能強化等)に積極的に取り組んだ。 <b>新</b> 「JAXA 西日本衛星防災利用研究センター」の開所と 「JAXA 展示コーナー」の設置 <b>新</b> 「日本規格協会」、「ジェトロ」との連携による海外 展開支援機能の強化																					
p.42	第1-3(4) 先端的試験研究 機器の整備等による技術支 援サービスの充実 イ 依頼試験	3	4	<b>新</b> オーダーメイド試験の割合が増加し、利用金額が過去 最高 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>621</td> <td>558</td> <td>577</td> </tr> <tr> <td>利用金額(千円)</td> <td>8,840</td> <td>10,688</td> <td>13,446</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">O.M.*の</td> <td>利用件数</td> <td>20%</td> <td>22%</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>36%</td> <td>54%</td> <td>65%</td> </tr> </tbody> </table> *O.M.: オーダーメイド試験	年度	H26	H27	H28	利用件数(件)	621	558	577	利用金額(千円)	8,840	10,688	13,446	O.M.*の	利用件数	20%	22%	30%	割合	36%	54%	65%
年度	H26	H27	H28																						
利用件数(件)	621	558	577																						
利用金額(千円)	8,840	10,688	13,446																						
O.M.*の	利用件数	20%	22%	30%																					
	割合	36%	54%	65%																					

4 H27年度に対してH28年度に評価が下がった項目について

頁	評価項目	H27	H28	H27の取組等												
p.16	第1-2(1) 実用化研究への 取組	4	3	△事業化・製品化に向けた新たな取組はあるものの、「特 許等の出願及び新規使用許諾件数」が目標に到達して いないなど、ものづくり力の高度化・ブランド化の源にな る知財を含む技術シーズの獲得が十分ではない。												
p.26	第1-2(5) 数値目標 ア 特許等の出願及び新規 使用許諾件数	4	2	△実績の低下 ※ 職務発明認定 (未出願分): 3件 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>11件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>11件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>73%</td> </tr> </tbody> </table>		H27年度	H28年度	目標	11件	11件	実績	11件	8件	達成率	100%	73%
	H27年度	H28年度														
目標	11件	11件														
実績	11件	8件														
達成率	100%	73%														
p.47	第1-3(4) 先端的試験研究 機器の整備等による技術支 援サービスの充実 オ 新事業創造支援センター	4	3	△技術革新計画承認企業に対する減免措置制度を施行 (制度活用入居企業1社)するなど利用促進に努めたが、 過去最高の入居を達成した昨年度から入居数が低下。 H27年度 6社8室/12室 → H28年度 5社6室/12室												

## 5 平成28年度に計画していた特筆すべき事項に関する取組状況

頁	特筆すべき事項	取組状況
p.16	<p>①ものづくり力の高度化・ブランド化に向けた取組            &lt;第1-2(1) 事業化戦略を踏まえた実用化研究への重点的な取組&gt;</p> <p>・県内企業のものづくり力の高度化・ブランド化の基になる技術シーズを生み出すための実用化研究を積極的に進めるとともに、本県の資源や魅力を活かした新製品の企画を積極的に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術戦略に基づく実用化研究を積極的に進め、主要研究開発8テーマのうち、2テーマで事業化し、3テーマで事業化に向けた取組が開始。</li> <li>・高度化・ブランド化の基になる知財など新たな技術シーズの蓄積は十分ではない。</li> <li>・本県の資源や魅力を活かした新製品の企画を積極的に行うため、平成29年度「製品開発チーム」創設に向けた検討会を設置した。【新】</li> </ul>
p.20	<p>②技術シーズの見える化            &lt;第1-2(2)ア 研究開発成果の普及とその活用支援&gt;</p> <p>・技術シーズを見える化し、研究開発成果の普及や事業化をより一層推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究報告書等の刊行、ホームページ、技術発表会等により研究開発成果の積極的発信を行った。</li> <li>・共同研究・受託研究の実施とフォローアップのための企業訪問を行った。</li> <li>・H27年度より2件増え、4件の事業化・商品化実績があった。</li> </ul>
p.42	<p>③機器整備について            &lt;第1-3(4) 支援サービスの充実&gt;</p> <p>・企業ニーズを踏まえた先端的試験研究機器、及び開放機器の信頼性を確保するために保守・校正・修理等が必要な機器を再調査し、今後の計画的・継続的な機器整備・保守に反映させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器を再調査し、以下の機器整備を実施。               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 企業ニーズを反映した機器整備（新規・更新）：2機器</li> <li>➢ サービスの向上に必要な機器整備（新規・更新・増設）：14機器</li> <li>➢ 機器寿命長期化のための修繕：8機器【新】</li> </ul> </li> </ul>
p.47	<p>④新事業創造支援センターの利用促進            &lt;第1-3(4) 技術支援サービスの充実&gt;</p> <p>・H27年度退出（3社）による空室の利用促進に向けて、H27年度に制定した減免措置等を有効に活用した取組を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術革新計画承認企業に対する減免措置制度の施行【新】（制度活用入居企業1社）するなど利用促進に努めたが、過去最高の入居を達成した昨年度から入居数が低下（1社2室減）した。</li> </ul>
p.50	<p>⑤研究員の人材育成            &lt;第2-2 職員の職の開発の計画的実施&gt;</p> <p>・H27年度の検討に基づき、企業支援に必要な戦略的かつ持続的な職員研修を企画立案する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度は、特に知的財産管理の質の向上に関する人材育成を実施し、所内研修や他機関の事業・研修を活用して、研究員だけでなく、事務職員の育成にも努めた。</li> <li>・研究員だけでなく、事務職員を含めた人材育成に向けた取組を今後検討する。</li> </ul>
p.61	<p>⑥施設設備の適切な管理            &lt;第4-1 施設設備の適正な管理&gt;</p> <p>・H27年度整理した今後の必要となる施設の大規模改善・改修について、修繕・改修に向けた対応を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保守業務への計画的な予算配分を行った。</li> <li>・修繕についてもその必要性が高いと判断されるものについては優先的に予算執行することで施設・設備が良好な状態に保たれるよう配意した。</li> </ul>

## 6 平成28年度の自己評価結果を受けて、平成29年度に実施する特筆すべき事項

- ① 実用化研究への重点的な取組 ＜第1-2(1) 事業化戦略を踏まえた実用化研究への重点的な取組＞
- ・ものづくり力の高度化・ブランド化の源になる知的財産を含む技術シーズの獲得に向けて、実用化研究での取組をさらに充実させるとともに、以下の取組を実施する。
  - ・新たに技術グループ横断的な「製品開発チーム」を創設し、「県内企業の魅力ある製品づくりのための企画・開発」に取り組む。
- ② 獲得した技術シーズの活用 ＜第1-2(2) 研究開発成果の普及とその活用＞
- ・研究開発で得られた技術シーズを活用した事業化をより一層推進するとともに、技術シーズの速やかなる知的財産化とその実施に努める。
- ③ 技術支援サービスの充実について ＜第1-3(4) 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実＞
- ＜機器整備＞
- ・企業ニーズを踏まえた先端的試験研究機器、及び開放機器の信頼性を確保するために保守・校正・修理等が必要な機器を再調査し、今後の計画的・継続的な機器整備・保守に反映させる。
- ＜食品関連企業の利用促進＞
- ・県内で企業数の多い食品関連企業の利用促進に向けて、新たな業種向けのパンフレットの作成・配布や、セミナー・個別相談をH28年度に引き続き実施する。
- ＜新事業創造支援センターの利用促進＞
- ・入居企業の開放機器使用料や室料の減免措置等の制度を有効に活用して、空室の利用促進に向けた取組を推進する。
- ④ 経営企画機能の強化 ＜第2-1 運営体制や経営資源配分の継続的な見直し＞
- ・経営企画グループを経営企画室に改組し、産業技術センターの経営企画に関する業務運営能力を強化する。
- ⑤ 職員の職能開発 ＜第2-2 職員の職の開発の計画的実施＞
- ・研究員だけでなく、事務職員を含めた全職員に向けた研修を体系的・継続的に実施できるように、その方策を検討する。
- ⑥ 情報セキュリティ対策の強化 ＜第2-5 情報管理の徹底＞
- ・H28年度に検討した情報セキュリティポリシーの見直しの方向性に基づき、情報セキュリティ対策を強化する。

平成28年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成29年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,666	固定負債	189
有形固定資産	5,650	流動負債	95
土地	1,001		
建物	4,381	【負債合計】	284
その他	268	資本金	6,375
無形固定資産	16	資本剰余金	△898
		資本剰余金	260
		損益外減価償却累計額	△1,158
流動資産	167	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	44	利益剰余金	72
その他	123	前中期目標期間繰越積立金	13
		研究・業務運営充実積立金	42
		当期末処分利益 (※H27:21)	17
		【純資産合計】	5,549
資産合計 (※H27:6,102)	5,833	負債・純資産合計	5,833

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (平成28年4月1日～平成29年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	948	経常収益	949
業務費	330	運営費交付金収益	614
人件費	492	使用料・手数料収入	38
管理運営費	126	特許実施料	12
		受託事業等収益	188
		資産見返負債戻入	91
		その他収益	5
臨時損失	0	臨時利益	0
(当期純利益)	1)		
当期総利益	17	目的積立金取崩額	16
合計 (※H27:987)	965	合計	965

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 官庁会計ベース

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金等	645	業務費	253
使用料・手数料等収入	50	人件費	492
研究費収入	157	一般管理費	121
補助金収入	78	施設費	74
その他自己収入	1		
前年度繰越金	0		
目的積立金取崩	25		
合計 (※H27:971)	956	合計	940
収支差額			17

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。





第2 業務運営の改善及び効率化	6	6	0	0	6	0	0	6	3.0										
1 運営体制や経営資源配分の継続的見直し	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
運営体制や経営資源の配分についての調査検討及び適時見直し	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
2 職員の職能開発の計画的実施	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
研修計画に基づく体系的・計画的な研修の実施	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
3 法人サービス業務の「見える化」の推進	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
第2期技術戦略の策定及び周知並びに情報発信内容及び方法の見直し	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
4 コンプライアンスの確保	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
法令遵守等に資する仕組みの適切な運用及び職員教育の実施	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
5 情報管理の徹底	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
漏洩防止のために必要な措置の実施	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
6 危機管理対策の推進	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
「業務継続計画」(BCP)の策定	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
第3 財務内容の改善	2	2	0	1	1	0	0	2	3.5										
1 自己収入の確保	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0										
国等の外部資金の獲得及び運営費交付金以外の収入の確保努力	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0										
2 経費の抑制	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
予算の配分や執行管理方法の見直し	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
第4 その他業務運営に関する重要事項	3	3	0	1	2	0	0	3	3.3										
1 施設設備の適切な管理	2	2	0	1	1	0	0	2	3.5										
保守点検・修繕等の計画的な実施及び有効活用策等の検討	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
数値目標 来庁者数	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0										
2 環境負荷の低減	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										
環境マネジメントの継続実施	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0										

※小項目がない中項目については、細項目別評価の評点の平均値により評価を行う。